

ひかり



主題	ふれる・やってみる	目標	まわりの人やものに興味を持ち、関わろうとする
聖句	父の諭しに聞き従え 母の教えをおろそかにするな 箴言1章8節	讃美歌	♪ぱらぱらおちる①④ ♪ひとりひとりの名を呼んで
月の歌	かえるのうた・はをみがきましょう		

『父の諭しに聞き従え。母の教えをおろそかにするな』(箴言第1章8節)

私たちは「喜びや感謝の思い」を、周りの人びとから持たれて生まれてきました。誕生した時には、たくさんの祝福をもって家族に受け入れられ、また家族の励ましや慰め、支えにもなっています。家族を喜ばせたい、喜んでほしいと思いながら、毎日平凡でよいから「平安であり幸せな生活」を目指して頑張っています。

人間がまず最初に関わるのは「家庭」です。「小さい」ながらも「家庭・家族」の中で成長していきます。保護者は、常に励ましと慰め、いたわりをもって、誕生した生命を育てていきます。そして、子どもたちは保護者の言動を見ながら、まず模倣をしていきます。子どものしぐさ、言葉遣いなどは、保護者によく似ていると言われる所以であります。知らず知らずのうちに、子どもたちは保護者に似、いつかは保護者から独立していきます。その間に、大人として、子どもたちに何を教え、伝えるのでしょうか。一人ひとり、また各家庭によって違いはあるかもしれませんが、しかし、子どもたちは将来、もっと輝かなくてはなりません。子どもたちには現在も将来をいつも輝いていて欲しいと思います。家族がそして大人たちが子どもたちと共に喜び、共に悲しみ、共に楽しみ、共に泣く。いつも子どもたちの心に寄り添い、配慮することが必要なことではないでしょうか。大人も子どももお互いの心を感じあうことが必要です。親子が互いに心を感じあえることができるということは素晴らしいことではないでしょうか。『共に生きる』『共に歩む』ことが人生の土台ではないかと思えます。

牧師 濱田 道明



6月の行事予定



月	火	水	木	金	土
	1 創立記念日 交通訓練	2 歯科健診	3 礼拝・内科健診	4 体育教室 年長児ハイキング	5
7 身体測定	8	9 プール開き	10 礼拝	11	12
14	15	16 誕生会	17 花の日礼拝	18 体育教室	19
21	22	23	24 礼拝	25 避難訓練	26
28	29	30 七夕飾りつけ			